

高倉だより 評価特集号

令和4年12月1日

京都市立高倉小学校

学校長 野口十三枝



～令和4年度 前半学校評価結果を お知らせします～

毎年、年度の前半・後半に一度ずつ、学校評価アンケートを実施し、学校評価の大切な指標として皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めています。前半評価は、教育年間計画に沿った教育活動の実践の中間点検にあたります。

令和4年度 前半学校評価の取組

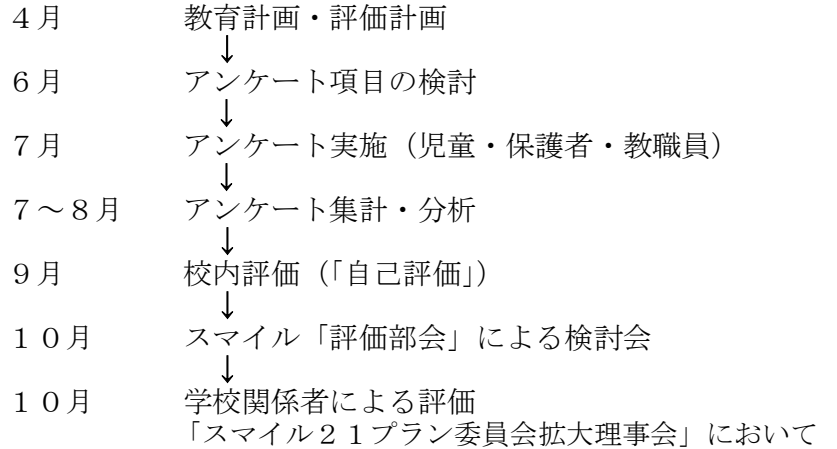
今年度も、評価項目については、年度当初にお配りした「高倉小の教育」リーフレットの各ページにある「評価のポイント」をもとに設定しました。それは、昨年度からの経年変化もみていきたいと考えたからです。なお、今年度もスマイル評価部会による検討会におきまして、質問項目の検討や結果の分析を行いました。



学校教育目標

よりよい生き方を求めて、誇りをもち、未来にはばたく高倉の子
豊かに学び、表現し、高め合う姿をめざして～

【令和4年度 前半学校評価の流れ】



評価項目と集計結果（R3年後半との比較）

R4前半学校評価（R3後半との比較）

3%以上上昇

3%以上下降

R3後半

R4前半

＜確かさを育む教育＞

	児童	保護者	教職員		児童	保護者	教職員
① 学校の勉強がよくわかる	97.0%	94.0%	98.0%		95.3%	93.8%	94.2%
② 自分の思いや考えをすずんで伝え合う	89.0%	82.0%	100.0%	➡	90.3%	93.4%	88.5%
③ 読書は好きですか(家庭での)	87.5%	69.0%	85.0%	➡	87.5%	64.0%	77.1%
④ 家庭で読書をどのくらいしていますか ※別掲							
⑤ 家庭学習	96.0%	95.0%	100.0%		95.1%	92.1%	94.1%
⑥ 最後までやりぬく	96.0%	89.0%	98.0%		93.9%	88.0%	97.0%
⑦ 見通しをもって学習 (学習予定表の活用)	92.0%	82.0%	91.0%		91.0%	81.1%	88.5%
⑧ 授業中の約束守って、集中して	95.0%	87.0%	98.0%		94.2%	96.0%	82.8%

＜豊かさ・たくましさを育む教育＞

	児童	保護者	教職員		児童	保護者	教職員
① 学校生活が楽しい・安心	97.0%	93.0%	100.0%	➡	92.3%	94.4%	100.0%
② 思いやりのある温かい言葉づかい	94.0%	87.0%	95.0%		94.0%	88.7%	88.5%
③ 友達と大切にし合う	99.0%	94.0%	98.0%		96.4%	95.6%	94.2%
④ 学校の決まりを守って行動	97.0%	94.0%	98.0%	➡	90.1%	94.9%	80.0%
⑤ 放課後・休みの日ルールを守る	97.0%	98.0%	98.0%		96.4%	96.7%	88.5%
⑥ 学校・家でのあいさつ	92.0%	86.0%	80.0%		92.0%	84.3%	74.2%
⑦ 地域でのあいさつ	92.0%	81.0%	83.0%	➡	88.9%	80.4%	68.5%

＜健やかな心と体を育む教育＞

	児童	保護者	教職員		児童	保護者	教職員
① すずんで外遊び	72.0%	71.0%	93.0%		72.6%	76.5%	91.4%
② 食事マナー	96.0%	80.0%	98.0%		95.6%	81.1%	97.1%
③ 食事の好き嫌いなく楽しく	91.0%	74.0%	93.0%		90.9%	70.3%	91.4%
④ 朝ご飯	96.0%	95.0%			94.5%	96.3%	
⑤ 安全な登下校	98.0%	97.0%	100.0%	➡	96.7%	97.2%	91.4%
⑥ 自分の心や体を大切に	96.0%	93.0%	100.0%		94.6%	93.1%	100.0%

＜高倉小の特色ある教育＞

	児童	保護者	教職員		児童	保護者	教職員
① 地域学習・伝統文化の学習に興味をもって	94.0%	92.0%	100.0%		94.2%	92.4%	94.2%

＜学校・家庭の連携＞

	児童	保護者	教職員		児童	保護者	教職員
① 先生に話をしたり相談したり	84.0%		100.0%		85.3%		97.1%
② おうちの人に話をしたり相談したり	89.0%	91.0%			87.6%	92.4%	

※④家庭で読書をどのくらいしていますか
R3後期

	ほぼ毎日	週に2～4回程度	週に1回程度	ほとんどしない
児童	27.0%	27.0%	25.0%	21.0%
保護者	21.0%	22.0%	31.0%	26.0%

R4前期

	ほぼ毎日	週に2～4回程度	週に1回程度	ほとんどしない
児童	28.0%	25.0%	23.0%	24.0%
保護者	33.0%	30.0%	23.0%	14.0%

▶5分野 24項目

▶4段階評価（そう思う・だいたいそう思う…**プラス評価**

あまりそう思わない・そう思わない…**マイナス評価**）

全体として

ほとんどの項目でプラス評価が90%となっている。昨年度（後半）と比較すると、保護者の項目では、上昇している項目が増えている。一方教職員の項目では下降している項目が増えている。これは教職員の指導が子どもたちにうまく伝わっていないと考えられる。今一度指導法を見直し、よりよい指導をしていきたい。

家庭での読書については、保護者、教職員で下降が見られた。一方で④の項目では変化が見られた。※詳細は下記

豊かさ・たくましさを育む教育については、児童、教職員ともに下降している。児童、教職員ともに現状を自覚している。学校が楽しく、安全と感じられるよう、また、決まりを守る、あいさつがしっかりできるようしっかりと指導をしていきたい。

登下校については、保護者の皆様や見守り隊の方々のおかげで大きな事故等はなく、安全に登下校ができています。しかし、児童の下校の様子を見ると、危険な行動が見られる。学校での安全指導をきちんと行い、さらに安全に登下校できるようにしていきたい。

家庭での読書は昨年度の後半と比べて、児童は特に変わらないが、保護者の評価はかなり上昇している。今後も「読書」の時間を大切に、本に親しむ児童を育てていきたい。

学校評価前半アンケート結果より

結果

■ そうおう

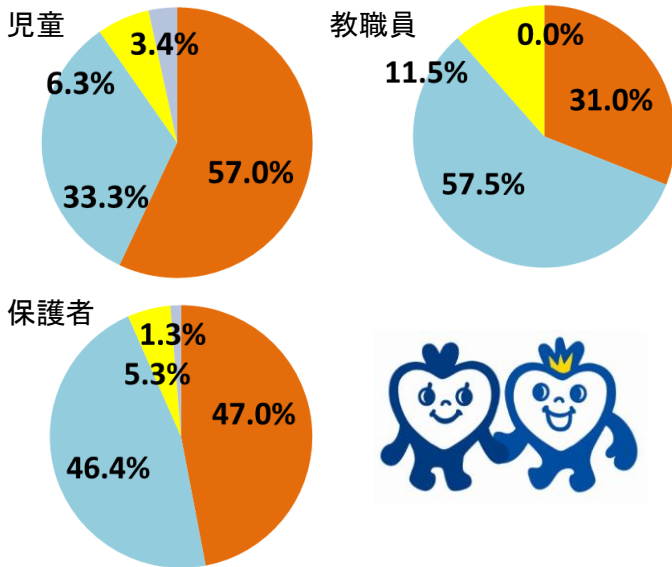
□ だいたいそうおう

■ あまりそうおもわない

□ そうおもわない

確かさを育む教育について

Q. 自分が思ったことや考えたことをすすんで伝えていきますか。

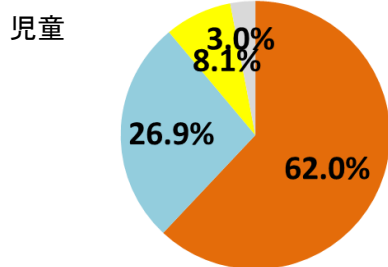


本校のめざす子ども像「高倉の子」の1つに、「すすんで学び よく考えよく話す子」を挙げています。「自分の思いや考えをすすんで伝え合っているか」の項目ではプラス評価が、児童90.3%、保護者93.4%と昨年度より上昇しました。これは今まではコロナ禍において話し合いや発表といった活動を控えていたのが、今年度より少しずつ活動ができるようになり、その成果や手ごたえを児童や保護者の皆様が感じているからだと思います。本校児童の課題として、自分の考えを根拠をもって相手にわかりやすく話したり、話の中心を明確にしてわかりやすく伝えたりする「話す力」があげられます。この課題を改善すべく、児童や保護者の皆様が手ごたえを感じている今こそ、毎日の地道な取組を全学級でしっかりと実施していきます。

一方、教職員のプラス評価については88.5%であり、昨年度より下降しています。これは、教職員の視点が「コロナ禍以前」に戻ったためであると思われます。だんだんとコロナ禍以前の、活発に話し合ったり発表できたりするようになってきたことを感じつつも、もっともっと力を伸ばしたい、という思いが評価に現れた形となっています。今後も丁寧に指導を進めていきたいと思っています。

豊かさ・たくましさを育む教育について

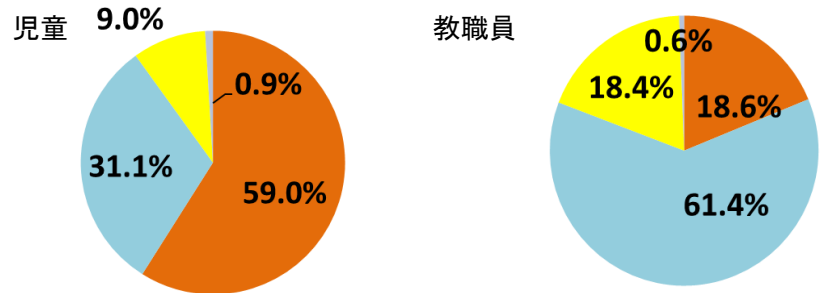
Q. 地域ですすんであいさつができていますか。



「あいさつ」については、児童の自己評価は昨年度と比べると低い評価となっています。校内でのあいさつは、昨年度から特に変わりはありませんが、地域の方々にあいさつができていない状況です。昨年度までと比べて、行事も少しずつできるようになってきています。登下校だけでなく、そういった行事でお会いする機会も増えてきています。そこであいさつができるように、子どもたちに指導するのはもちろんですが、まずは大人である教職員や保護者の皆様が率先してあいさつをすることが大切だと感じています。「率先垂範」を意識して、あいさつがあふれる気持ちのよい高倉小学校を目指したいと思います。



Q. 学校のきまりを守って行動できていますか



児童の自己評価、教職員の評価がともに低下しています。この項目が低くなっていることが、「学校生活が楽しい、安全である」の項目が低くなっていることにつながっています。「なぜきまりがあるのか」「なぜ守らなければいけないのか」ということをしっかり理解できるようにしていきたいと思っています。また、我々教職員は、きちんと指導ができていないのではないか、ということを常に問いかけながら指導に当たりたいと思っています。

学校・家庭・地域、三者で子どもたちの豊かな育ちの実現を！

自由記述のご意見 今回の学校評価アンケートでの自由記述欄のご意見・ご感想の一部を紹介させていただきます。

○先生方にはいつもお世話になり、感謝しております。毎日、楽しそうに学校へ行っている様子が見られて、嬉しく思っています。

○宿題を少なくしていただけたらありがたいです。このままだと勉強を嫌いになりそうです。

→宿題は家庭学習の目安である「学年×10分」を参考に調節していきたいと思っています。

○学校で汚い言葉を使ったりする子がいるそうです。低学年のうちから男女問わず言葉遣いについて指導していただきたいです。

→担任だけでなく、学校全体、そして保護者の皆様が協力して正しい言葉遣いの指導をしていきたいと思っています。

○今年度は遠足など、昨年度よりさらに活動できることが増えてきていて嬉しく思っています。今後も校外学習（遠足）など、幅広い学びの機会があることを願っています。

○ランドセルの中をもっと軽くして欲しい。タブレットを活用して教科書ノートは全て置き勉強にしたい。タブレットだけの持ち帰りにして欲しい。

→荷物の持ち帰りに関しては、今後も精選をし、負担を少しでも減らせるようにしていきたいと思っています。ロイロノートなどを使用し、教科書やノートを持って帰らなくてもよい機会を作っていけたらと思います。

○登下校時の交通量が気になります。安全に通学できるよう家庭でも度々話をしていますが、学校の方でも機会がある度にご指導頂けると幸いです。

→学校、保護者、地域が一つとなって取り組むべき課題です。しっかりと指導をしていきます。ご協力よろしくお願いいたします。

○子どもたちがもっと自主的に勉強するためにも、校内で自習できるスペースを積極的に設けるべきでは。私語厳禁の自習スペースが校内にあれば、宿題も自主学習も、学校の図書を利用しながらもっと自主的に取り組めると思う。

→現状は学級教室の確保にも苦労していますので、新たなスペースの確保は難しいです。放課後、図書館では「放課後まなび教室」が行われていますので、今後、そちらを利用していただければと思います。